

令和 8 年度 グループホーム ふたみ 事業計画書

1、基本理念

「のんびり」 「一緒に」 「楽しみながら」

2、基本方針

◎認知症の高齢者が少人数で共同生活を送り、家庭的な雰囲気の中で安心感を得ながら
様々な日常生活を通じて生活意欲を高めることで、認知症の進行の緩和を目指していきます。

3、援助方針

◎利用者様一人ひとりの人権を尊重し、住み慣れた街でその人らしい暮らしを送ることが
出来るよう支援していきます。

4、令和 8 年度の重点目標

- (1) 利用者個々のニーズに合わせた個別支援の充実
- (2) 看取り介護の実践
- (3) 地域との連携強化
- (4) 家族との連携強化
- (5) 生産性向上委員会の設置

5、支援内容

(1) 利用者個々のニーズに合わせた個別支援の充実

- ・ 家族に協力を求め利用者に関する生活歴などの情報を得てこれを活用する。
- ・ 各担当者は利用者の心身の状態など、その人らしい生活の把握に努める。
- ・ 利用者および家族のニーズに沿ったケアプランを作成し、プランに基づいた支援を全職員が対応する。
- ・ 利用者の状態の変化に合わせ、プランの見直し、評価を行い、個別支援の充実、実現に繋げる。

(2) 看取り介護の実践

- ・ 看取り介護の実践に当たっては、ご本人・家族が安心して終末期を迎えられるよう全職員が「看取り介護指針」を習熟し対応する

- ・看取りを行った後にもP D C Aサイクルにて振り返り検討し、今後の看取りに活かしていく

(3) 地域との連携

- ・認知症啓発活動などにおいて、地元の区、民生児童委員、社会福祉協議会、地域包括支援センター、学童及び近隣の住民などと交流を図ると共に、情報を収集し、地域との繋がりを確保し、施設をより知って頂き、地域貢献に努める
- ・運営推進会議は地域との連携強化を図る絶好の機会であると理解し、できるだけ地域の人々多数参加を求め、施設の情報を発信し理解を得ると共に地域の支援協力を依頼する
- ・ウェルフェアブランド戦略プロジェクトにおいて、ブログやSNSの活用にて、いろんな方面に施設を知っていただく取り組みを行う

(4) 家族との連携

- ・利用者が好きだった食べ物を持参していただいたり、外食などの機会を作り、食を通じ家族との繋がりを深めてもらう
- ・外出が難しい場合でも、ICT 機器やバーチャル体験などを活用し、墓参りや思い出の場所を訪れているような気持ちを感じていただける機会を作る
- ・概ね2ヶ月に一度開催する運営推進会議、家族会への積極的な呼びかけを行う
- ・ホーム行事への積極的な参加呼びかけを行う
- ・家族の意向を積極的に伺い、介護職員と家族が一体となって利用者をサポートしていく
- ・施設内に御意見箱を設置し、直接要望や意見が言えない方への対応をする

(5) 生産性向上委員会の設置

① 業務の棚卸の実施

全職員参加のもと、日常業務の洗い出し（棚卸）を行い、業務内容の可視化を図る。その中で、以下の視点から業務の見直しを行う。

- ・重複業務の有無
- ・非効率な手順の改善余地
- ・優先順位の適正化
- ・削減可能な業務の抽出

②業務の棚卸の実施

棚卸結果をもとに、業務の整理・簡素化・標準化を行い、効率的な業務体制の構築を目指す。また、職員からの改善提案を積極的に取り入れ、現場主導の改善活動を推進する。

③ ICT ツールの活用

記録業務や情報共有の効率化を図るため、ICT ツールの導入・活用を推進する。これにより、記録時間の短縮、情報伝達の迅速化、業務負担の軽減を図る。

④ 働きやすい職場環境の整備

業務改善を通じて時間外労働の削減や業務負担の平準化を図り、職員の働きやすさ向上に努める。

また、短時間勤務等、多様な働き方に対応できる体制づくりを検討する。

⑤ PDCA サイクルによる継続的改善

取り組みの効果について定期的に検証を行い、課題の抽出と改善を繰り返すことで、継続的な生産性向上を図る。

7、職員会議・委員会・職員研修の活動などについて

(1) 職員会議

- ・ 情報の共有、統一化をはかるため、2ユニット合同ミーティングを実施。カンファレンスはユニット別で行うが、利用者18名の状態が把握できるよう、常に情報を共有する。
また伝達方法や書式、役割を見直し、体制の構築を行う。
- ・ 利用者様個々のケアプランに基づいた生活支援が実践できるよう、検討・評価を行う。

(2) 委員会

① 給食委員会

委員はウェルフェアグループと給食業者が3ヶ月毎に行う定例会議において、グループホームを代表して忌憚のない意見を述べ利用者の食事の改善に努める。なお、会議の様子は記録簿に記載する。

② 身体拘束・虐待防止委員会

委員は身体拘束・虐待防止の重要性を認識し、日常の介護業務の中で虐待が行われないよう最善の注意を払いかつ介護職員の意識の向上に務める。また身体拘束・虐待防止委員会を3ヶ月に一回以上開催するとともに、その結果について、介護職員その他従業者の周知徹底をはかる。

③ 研修委員

研修担当者は勉強会、研修等の年間スケジュールを定め、これらの資料を整えまた講師の手配を進めるなどして介護職員の介護力向上に努める。外部研修、ウェルフェアグループによる職員研修機関『ウェルフェアアカデミー』などの研修機会のアナウンスや調整を行い、研修の拡大と内容の充実を図る。

④ 美化委員

美化担当者は率先してたえず施設内外の美化清掃に努め、健康的で住み良い施設の住環境を整えるよう努める。また全職員と協力し季節感のある飾りなどにて季節を感じていただく。

作品作りで利用者様同士、または利用者様と職員の交流を深めていく

- ⑤ 備品係り
備品担当者は日常業務に必要な備品、消耗品の適正な仕入及び在庫管理を行い業務に支障のないよう日々きめ細かい配慮に努める
- ⑥ 広報委員
色んな活動をブログ、SNS，施設たよりを通して多くの方に GH ふたみを知っていただく
- ⑦ 感染・衛生管理委員会
感染症発生防止及び発生時の対策のための委員会を6か月に1回以上開催する。
- ⑧ BCP委員会
大規模地震を想定した非常時対策の訓練、計画策定のための委員会を開催する。
業務継続計画の作成・見直し
- ⑨ 生産性向上委員会
業務の棚卸の実施、業務改善の推進を図り、働きやすい環境づくりに努める。
ICT 機器や介護機器等の活用について検討し、業務負担の軽減に取り組む

(2) 職員研修

- ①年間計画を基にした計画的な開催
- ②職員一人ひとりの介護力の向上と実力の同一レベル化を図ると共に、個々のスキルアップのため、職員は各種研修、勉強会に参加しかつ各人資格の取得を目指す
- ③ウェルフェアグループ職員研修機関『ウェルフェアアカデミー』に積極的に参加する

月	年間行事
1月 2月	初詣 節分
3月 4月	桃の節句 桜散策
5月 6月	地域行事参加 菖蒲散策
7月 8月	おやつ作り
9月 10月	敬老会 ハロウィン
11月 12月	やきいも 忘年会

	研修内容(予定)	講師
4	生産性向上について	生産性向上委員
5	介護技術①	Web 研修
6	感染症	感染症対策委員
7	熱中症	Web 研修
8	虐待防止①	虐待防止委員
9	介護技術②	Web 研修
10	BCP②	BCP 委員
11	感染症②	感染症対策委員
12	認知症	Web 研修
1	虐待防止②	虐待防止委員
2	急変時の対応	看護師・web 研修
3	看取り	看護師・web 研修

※研修内容は、都合上変更する場合があります。